

地球

第一卷第六號

大正十三年六月一日發行

第六號 目次

寫真版 第三紀海底之落地層の露頭

圖版 相模灣海底變化の圖 關東地方震害圖

關東地震研究

九、相模灣の所謂陷沒と隆起の意義如何

..... 理學博士 小川琢治

一〇、相州地方に於ける九月一日及一月十五日の地震に就て

..... 小出實次郎

地理學者としてのカント..... 文學士 小牧實繁

黒鑽の放射能測定..... 理學士 木下龜城

地震計に就て..... 理學士 上河善雄

第二回 汎太平洋學術會議概況.....

講話 地球の生れるまで(五)..... 理學博士 松山基範

雜報

新刊紹介

質疑應答

京 都 帝 國 大 學 理 學 部

地 質 學 教 室 內

地 球 學 團

地球七月發行溫泉號 (第二卷第一號) 豫告

主要題目

湯	八	鹽	伊	近	城	三	溫	九	臺	朝	驪	黃	ニ	溫	佛	ホ	カ	ア	溫	溫	溫
其他各地溫泉記及逸聞	屋田風呂屋	甲原の温泉	豆の温泉	畿の温泉	朝温泉源の配	州温泉の温	州温泉の温	灣温泉の温	鮮温泉の温	山温泉の温	石温泉の温	ニ温泉の温	佛國中高原の温泉	ホイスラバード	カールズバード	アースランド間歇温泉	温泉	温泉	温泉		

文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

喜田貞吉	郡場傳藏	佐藤新太郎	比村新太郎	内藤虎次郎	松藤成傳	石川元春	藤村新太郎	中村喜太郎	神田喜太郎	木山忠基	濱田耕作	田中阿歌	新田村	郡山又次	橫村直五	中村橋	石川五	小川琢
------	------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	------	------	------	-----	------	------	-----	-----	-----

地球

第一卷 第六號

地球 第一卷 第六號 目次

寫真版 第一卷、第十版 第三紀海底に落地層の露頭、

圖版 第十一版 相模灣深度變化、
第十二版 關東地方震害圖、

關東地震研究

九、相模灣の所謂陷没と隆起の意義如何……………理學博士 小川 琢 治 (四五一)

一〇、相州地方に於ける九月一日及一月十五日の地震に就て……………上治寅次郎 (四七、三〇)
小 出 亮 (四七、三〇)

地理學者としてのカント……………文學士 小 牧 實 繁 (四三、四〇)

黒鑛の放射能測定……………理學士 木 下 龜 城 (四七、五七)

地震計に就て……………理學士 上 河 善 雄 (四六、六二)

第二回汎太平洋學術會議概況

(四八七、七五)

講話

地球の生れるまで(五)

……理學博士

松山基範

(四九六、八三)

雜報

新疆省の油田、華僑の現状、奉天地方の米作、カボツク棉、生絲の價格、江西省の油脂類、滿鐵の頁岩製油、鐵道開通三項。故神保博士の歐文著述目錄、文檢地理科豫備試驗問題。

新刊紹介

地震、地震講話、綜合世界經濟地理。

質疑應答

前號 目次

寫眞版 根府川村の山崩、秦野村今泉の地之り、北條寶珠院の倒壊、遠州佐濱發掘の象化石

圖 版 丹澤山塊地質圖

關東地震研究

七、深發地震の本性(下)..... 理學博士 小川 琢 治

八、丹澤山塊の地質構造概觀..... 理學士 本間不二男

英領東阿弗利加の開發..... 文學士 藤 田 元 春

朝鮮の奥陶紀層に關する現在の智識..... 理學士 中村新太郎

遠州濱名湖畔に出た舊象と其の地層..... 理學士 榎 山 次 郎

震災後の悲しい追憶..... 理學博士 小 川 琢 治

講 話

地球の生れるまで(四)..... 理學博士 松 山 基 範

雜 報

新 刊 紹 介

質 疑 應 答

地球學團規約

- 第一條 本學團は地球學團といふ。
- 第二條 本學團は地球に關する學術的研究を進め兼ねて同好の士の親睦をはかるを目的とする。
- 第三條 事務所を京都市白川追分町京都帝國大學地質學教室内に置く、又會員が多い地方には支部を置く事がある。
- 第四條 本學團の事業は次の如くである。
 一 雜誌並に圖書の刊行
 二 講演並に講習會の開催
 三 實地見學の指導
- 第五條 本學團員は地球購讀費として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。
- 第六條 本學團員になりたい人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球購讀費半年分以上を、發行所へ送金する事。

註文規定

- ① 團員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候。
- ② 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候。
- ③ 振替貯金にて御送金は(振替大阪三二九五番三九三一番東京三九三一番)内外出版株式會社宛に願上候。
- ④ 前金切れる場合は帶封に「前金切」の印章捺致すべきに付直に御拂込下され度候。
- ⑤ 特に購求書及領收書等を要する場合は郵券差錢御送付下され度候。

價定

一册	定價金五十錢	郵税金貳錢
六册(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二册(前金)	定價金六圓	郵税不申受

廣告料 一頁 金五拾圓 半頁は取扱不申

大正十三年五月廿五日印刷納本
 大正十三年六月一日發行

第一卷 第六號

不許複製
 禁轉載

編輯者 京都帝國大學理學部 地質學教室内 地球學團

右代表者 藤田元春

發行者 大谷仁兵衛

印刷者 村上勸兵衛

印刷所 内外出版株式會社印刷部

發行所 京都市下京區西洞院七條南 内外出版株式會社

本社 京都市下京區西洞院通七條南
 出張所 京都市京橋區加賀町十番地
 販賣所 京都市神田區錦町一ノ十九

所 捌 賣
 (東) 東京堂
 (大) 大阪屋
 (神) 神戸盛文館
 (京) 京都共盛社
 (名) 名古屋マガン
 (東) 東京堂
 (上) 上野屋
 (文) 文誠堂
 (盛) 盛文館
 (共) 共盛社
 (大) 大瀨盛進社
 (川) 川瀨書店
 (三) 三誠堂
 (至) 至誠堂
 (東) 東海堂
 (北) 北隆館

CHIKYU—THE GLOBE

Vol. I, No. 6

June 1924.

- Pl. X. *Figs. 1 and 2.*—Submarine Gliding in the Tertiary Strata at Horinouchi, Tōtōmi, and Nagao, Bōshū.
- Pl. XI. Submarine Changes of Sagami Bay.
- Pl. XII. Distribution of Destroyed Habitations in the Earthquakes of September 1st, 1923 and January 15th, 1924, in the Kwanto District.
- Contributions to the Study of the great Kwantō Earthquake. September, 1923.
9. On the Significance of the so-called Depression and Upheaval in Sagami Bay.
By T. Ogawa, *Rigakuhakushi*405
10. Earthquakes of the Sagami District, September 1st, 1923 and January 15th, 1924.
By T. Ueji and A. Koide.....447
- E. Kant as a Geographer
By S. Komaki, *Bungakushi*.....462
- Radio-activity of the Black Ore (*Kurumono*).
By K. Kinoshita, *Rigakushi*.....471
- On the Seismographs
By Y. Kamikawa, *Rigakushi*.....476
- The Second Meeting of the Pan-Pacific Scientific Conference.....487
-
- To the Birth of the Globe. By Motonori Matsuyama,
Rigakuhakushi.....496
-
- Geographical Notes, New Books, Inquiries.

Chikyu Gakudan
Kyoto